

第6学年 道徳科 学習構想案

日時 令和6年5月27日(月) 第5校時
 場所 6年1組教室
 指導者 教諭 南原 圭吾

本時の学習

(1) ねらい

テレサの生き方について考える活動を通して、勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深めたり、勤労を通じて社会に貢献しようとしたりする態度を養う。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◎中心発問◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 本時の学習課題を知る。 ○働くことに関して、どんなイメージをもっていますか。	・勤労に関するアンケート結果を提示する。 (将来どんな仕事をしたいか・働くことにどんな印象を持っているか)
【めあて】 何のために働くのだろう			
展開	30分	2 教材を読み、登場人物の気持ちや考えについて話し合う。 (1)教材を聞いて登場人物の勤労観を押さえる。 ○テレサがつくったものは何でしょう。 ◇死を待つ人々の家 ◇孤児の家 ◇平和の村 (2)教材について話し合う。 ○テレサがノーベル平和賞を受賞した時、どのくらい嬉しかったでしょう。 ◇とても嬉しかったと思う。自分の頑張りが認められたから。 ◇嬉しくなかったと思う。テレサは自分よりも、困っている人を助けることを大切にしているから。	・教材を聞く際に着目する人物を示し、本時の目標に迫れるようにする。 ・児童が意見を交流する活動を通して、テレサが社会の役に立つ生き方をしていることに気づかせたいため、テレサの人柄については深く扱わない。 ・心情メーターで可視化することで、テレサの複雑な心境に迫れるようにする。 ・意見を交流しながら、自分のために働くことも、社会のために働くこともどちらも大切な心であることを押さえる。
		◎テレサの働き方に、あなたは共感できますか。 ◇共感できる。テレサのように社会のために働く人になりたい。 ◇共感できない。お金を稼がないと生きていけない。 ◇少し共感できる。テレサのように行きたいけど、自分には真似できない。	・テレサの勤労観をもとに、自分の勤労観を考えさせる。心情メーターを使うことで自分の考えを明確にし、可視化することで互いに考えを伝え合えるようにする。
		○働くとはどういうことだろう。 ◇人に喜んでもらうこと ◇社会のために役に立つこと	・学習を振り返りながら、働くうえで大切な心について焦点を当てていく。
終末	10分	3 学習を振り返る ○今日のふり返りを書きましょう。 ◇これまでは自分のことしか考えていなかったけど、これからは周りの人のために働ける人になりたいと思いました。	・振り返る視点(自分の考えが深まったか、変化したか)を提示する。 ・友達の発表を自分の考えと比べながら聞き、これから大切にしていきたい心や今後の在り方について見つめ直させる。 ・JA青年部からのメッセージを流し、余韻を残して終わる。



【評価の視点1】 テレサの生き方をもとに自分の勤労観を見つめ直し、話し合うことを通して、働くことの意義について考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 勤労の尊さや意義について、自分の経験と関わらせて考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

マザーテレサ

何のために働くのだろう

ノーベル平和賞を受賞した時、テレサはどれぐらいうれしかっただろう

0%

そふ
うだ
ん通
り
の
服

ない
自
分
の
目
的
で
は
い
や
っ
ぱ
り
う
れ
し
な
か
っ
た
け
ど
、
自
分
の
目
標
で
は
も
っ
と
困
つ
て
い
る
人
を
助
け
よ
う
認
め
ら
れ
た
自
分
の
頑
張
り
が

100%

自
分
の
頭
張
り
が
も
っ
と
困
つ
て
い
る
人
を
助
け
よ
う

お金

好き
得意
有名

働く

親孝行

役に立つ

社会
お客さん

自分のため 人のため

マザーテレサの生き方に共感できますか？

自分のために
お金を使いたい

お金を稼がないと
生きていけない

自分のことも大切
にした方がいい

共感
でき
ない

マザーテレサのよう
に、困っている人を
助ける人になりたい

お客さんのために
働きたい

マザーテレサのよう
になりたいけど、自分
にはマネできない

電子黒板

※児童の考えを示す

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

【モニター】

導入時、アンケートの結果や体験活動の写真を提示する。
 終末時、JA 青年部より児童に向けたメッセージ動画を流す。

【電子黒板】

展開時、スクールタクトの共同閲覧モードを活用し、児童用タブレットで他の児童が考えたことを自由に見ることができるようにする。
 展開時、ワードクラウドを活用し、発表できなかった児童の意見も反映される機会を設定する。